

人と自然が共生する森を目指して 「舟志の森づくり」がスタート

舟志の森づくり推進委員会が第1回の植樹祭開催
ドングリの苗木200本を植樹



植樹作業を行う参加者



植樹に先立ち、地元委員手作りの案内板の
除幕式が行われました。

3月25日、上対馬町舟志地区の森林で舟志の森づくり推進委員会による第1回の植樹祭が開催されました。

同委員会は、上対馬町舟志地区、ボランティアグループ「ツシマヤマネコ応援団」、住友大阪セメント株、対馬市が主体となり、ツシマヤマネコを中心とした野生生物の保護と、人と自然が共生するモデル林をつくることを目的として、2月16日に発足したものです。

晴天の中実施された植樹祭には、委員会の会員と一般市民の合わせて約120名が参加。住友大阪セメント株が所有する森林に、「ツシマヤマネコ応援団」が3年前から大切に育ててきた高さ50cm程のドングリの苗木約200本を植えました。

今後この「舟志の森」では、ヤマネコのエサとなる小動物の棲む昔ながらの生態系を持つ森の再生を目指して、地元住民が中心となり森を適切に管理し、「ツシマヤマネコ応援団」が育てたドングリの苗木を定期的に植樹していく予定です。

同委員会の古藤精一委員長は、「森づくりは一朝一夕にはできない。今後多くのみなさんのご理解とご支援をいただき、なんとかこの森づくりを成功させたい」と話し、住友大阪セメント株小田切康幸会長は「私たちの所有する森林が、ヤマネコを中心とした野生生物の保護、人と自然が共生する森として再生することは大変嬉しいこと。共に力を合わせていい結果を出せるように願います」と話していました。

平成19年4月8日執行 長崎県議会議員一般選挙(対馬市選挙区)

永留邦次氏(無所属)が初当選

3月30日に告示された長崎県議会議員一般選挙(定数46)が4月8日執行されました。

定数1名の対馬市選挙区には、無所属新人の永留邦次候補と船越洋一候補、現職で3回目の当選を目指す自由民主党の坂本智徳候補の3名が立候補し、9日間の選挙戦が繰り広げられました。投票日当日は、市内127箇所の投票所で午前7時から午後6時まで投票が受け付けられ、早朝から多くの有権

者が投票所へ足を運びました。選挙への関心の高さに加え天候も良かったことから、対馬市全体での投票率は75.83%と前回の66.64%より9.19ポイント上昇しました。(期日前投票含む)開票は午後8時45分からシャインドーム(峰町三根)で始められ、約2時間半後の午後11時過ぎには作業が終了。投票総数23,412票のうち10,268票を獲得した永留氏の当選が確定しました。

投票結果

	当日有権者数	投票者数	投票率
巖原町	11,148	8,240	75.83%
美津島町	6,702	4,805	
豊玉町	3,413	2,821	
峰町	2,187	1,818	
上県町	3,425	2,597	
上対馬町	4,000	3,132	
対馬市全体	30,875	23,413	

開票結果

所属党派名	候補者氏名	得票数
無所属	永留邦次	10,268
無所属	船越洋一	2,654
自由民主党	坂本智徳	10,036
有効投票数		22,958
無効投票数		454
投票総数		23,412
その他(不受理・持ち帰り等)		1



上対馬南漁協本所（上対馬町琴）での発足式



豊玉町漁協本所（豊玉町千尋藻）での発足式

漁協合併

上対馬南漁協、豊玉町漁協が誕生

新年度がスタートした4月1日、市内に新たな漁協が誕生しました。

上対馬南漁協（福田利秋代表理事組合長、組合員数254名）は、旧上対馬町琴漁協と旧上対馬町南部漁協が合併し誕生したものです。

豊玉町漁協（根津廣次代表理事組合長、組合員数871名）は、旧豊玉町漁協、旧対馬浅海漁協と旧峰町西部漁協が合併して新たなスタートを切りました。

魚価の低迷、漁業資源の減少、燃油の高騰などにより水産業が低迷する中、経営基盤の強化を狙ったものです。両漁協とも出資金1億円以上を達成し、預貯金などを扱える信用事業が行えます。

発足式は、各漁協の本所で4月1日（上対馬南漁協）と4月3日（豊玉町漁協）にそれぞれ行われ、新たな船出を祝いました。

地域の身近な相談相手 対馬市の行政相談委員さんです

4月1日付けで、総務大臣より6名の方が行政相談委員に委嘱されました。期間は平成19年4月1日から平成21年3月31日までの2年間です。

行政相談委員は、社会的な信望があり、行政運営の改善について理解と熱意を有する人の中から総務大臣が委嘱します。

地域での皆さんの身近な相談相手として、行政サービスに関する相談を受け付け、相談者への助言や関係行政機関への通知などの仕事を無報酬で行っています。

自宅でも相談を受け付けていますので、お気軽にご相談下さい。

榊島悦三（66歳）	厳原町日吉267	52	1888	（再委嘱）
二宮昌幸（65歳）	美津島町雞知乙481	54	3009	（新委嘱）
村井満良（65歳）	豊玉町佐保131	58	0280	（再委嘱）
武田利實（59歳）	峰町三根1441	83	0643	（新委嘱）
今林勝正（58歳）	上県町佐須奈乙976	84	2334	（再委嘱）
古藤精一（63歳）	上対馬町舟志乙454	86	3108	（新委嘱）

春の行政相談週間

5月21日（月）から27日（日）

毎日の暮らしの中で、国の仕事などについての苦情や要望はありませんか。相談は無料で秘密は厳守されます。

2名の行政相談委員に 総務大臣から感謝状贈呈

3月末をもって行政相談委員を退任された2名に対し、総務大臣より感謝状が授与されました。永年の活動実績に対して贈られたものです。

42年間活躍

横尾 満さん（74歳）

昭和39年から42年間にわたり活動されてきました。美津島町雞知在住。



感謝状の伝達を受ける横尾さん

18年間活躍

上野初穂さん（72歳）

平成元年から18年間にわたり活動されてきました。上対馬町一重在住。



3月24日、対馬市交流センターで、平成18年度対馬地区ながさき「しま自慢」観光カレッジ修了証書交付式が開催されました。

観光カレッジは、しまの活性化を担う観光のプロを育成することを目的に昨年9月に開校され、観光ガイドコースや地域コーディネーターなど5コースの課程が実施されました。

式では、5コース全ての課程を修了した厳原町久田の小島裕さんが、修了者17名(うち高校生3名)を代表して「対馬の最大の宝は人です。名実ともに宝の島にするため、受講生は互いに連携し、知恵を出しあい対馬の未来を描いていきましょう」と謝辞を述べました。

観光のプロを育てる 「しま自慢」観光カレッジが修了



修了証を授与された皆さん

朝鮮通信使が初めて日本を訪問して400年を迎える今年、各地で開催される記念行事の一環として、日本ウォーキング協会と韓国体育振興会が主催する「21世紀の朝鮮通信使 友情ウォーク」の参加者が4月20日対馬入りし、松村市長を敬訪問しました。

松村市長は「東京まで無事に辿りつき、新たな日韓文化交流が生まれることをお祈りします」と長旅を続ける参加者を激励しました。

「21世紀の朝鮮通信使 友情ウォーク」 対馬市を訪問



国境マラソンIN対馬の参加ランナー KNN環境マラソンで活躍



3月25日に韓国で開催されたKNN環境マラソンに、昨年の国境マラソンIN対馬の入賞者である白山正義さん(男子ハーフの部4位)、林田優子さん(女子ハーフの部1位)ら11名が参加しました。

KNN環境マラソンは韓国のテレビ局であるKNNが主催し、マラソンを通じた交流を目的に、それぞれ大会の上位入賞者を招待しています。

今大会では、白山正義さんが男子の部で4位入賞、林田優子さんも女子の部で4位入賞、また一般参加の白山久栄さんも女子の部で6位入賞するなど活躍しました。

韓国ランナーからも一目置かれる存在となった国境マラソンのランナー達。次回の国境マラソンでは、今回の再戦を見ることができるともかもしれません。